

♣ 2月の月間目標 ♣
防火防犯

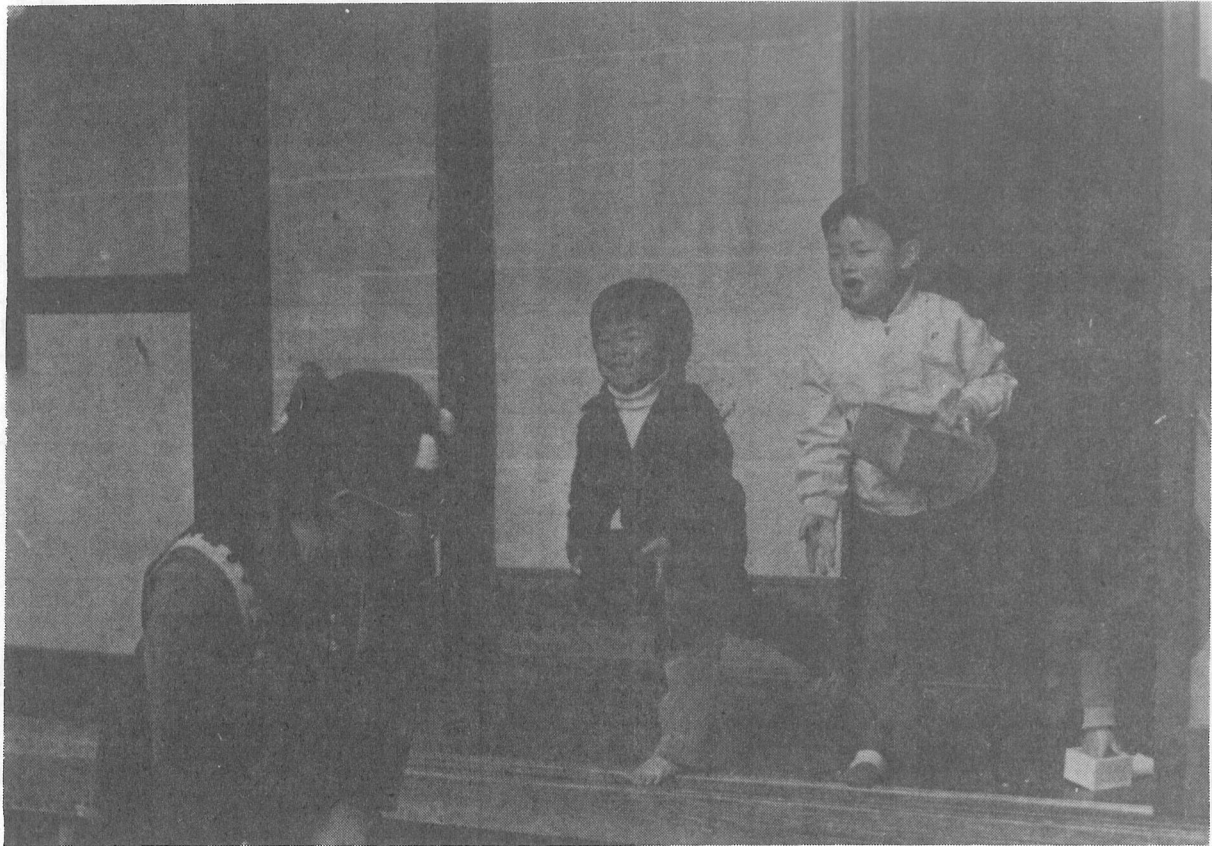
発行所
光町役場

匠達郡光町宮川 5,454の5
電話(04798) 2-1211代

町の状況(2月1日現在)

人口	男	5,693(+6)
	女	5,927(+9)
	計	11,620(+15)
世帯		2,750(+7)
面積		33.40km ²

()内は前月比



▲富下の布施修さん宅で豆まきする雅人君(右側二人目)と友達の加瀬真宏君(右側三人目)と鈴木敏一君。

節分の日

「福は内、福は内、鬼は外」と、最初は蚊の泣くような声が飛ぶ。そこにはテレからくるはずかしさが、にじみ出ているかのように。

すかさず、おかあさん鬼が「もっと元気な大きな声で、豆をまくんだよ」と、教えると勢いよくおかあさん鬼をめぐけて豆が投げつけられ、たまらず逃げまわる。

子供は、この逃げまわる動作がこっけいなのか、またおもしろそうに豆を投げる。そこには子供の素朴さが素直に表現されている。

二月三日、節分の日。立春の前日に、この一年間我が家が、無病息災で過ごせるようにと、安全を祈った行事で、どこの家庭でも行なわれている。

優良団員七十五名を表彰 新春出初め式

一月九日、午前九時から光中学校体育館で、新春恒例の消防出初め式が行なわれました。

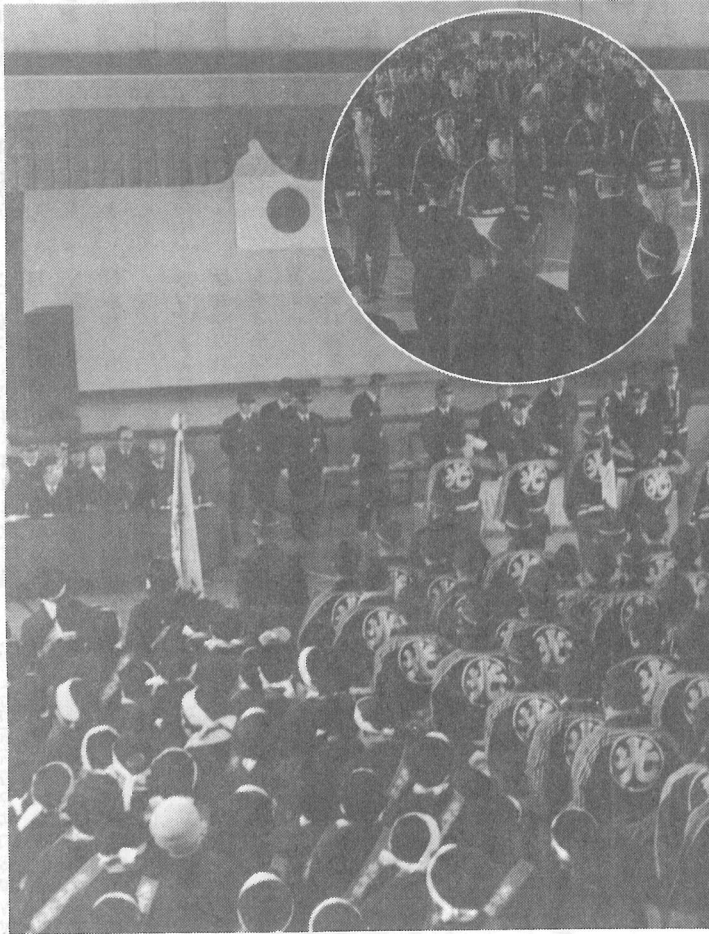
前日に降りつづけた雨のため、グラウンドが使用出来ず、会場は室内に変更されましたが、館内狭しと四五〇名の消防団員が整列しました。

団旗入場、森消防団長の天皇陛下

下のお言葉奉読などの後、多年にわたって地域消防に功績のあった優良団員に表彰状が、贈られました

- ◎千葉県知事功労賞
本部付部長 越川 一男
- ◎千葉県知事精勤章
第五分団長 林 和

- ◎千葉県消防協会長功労章
本部付部長 佐久間正貴
- ◎千葉県消防協会長精勤章
第七分団長 宮本武之利
中央分団長 斉藤 達雄
第一分団長 椎名 健二
第二分団長 鈴木 巖
- ◎千葉県海匝支庁長表彰
第六分団長 竹内 敏恭
- ◎第八分団長 椎名 輝
◎第三分団長 大木 幸衛
◎第四分団長 佐久間静一



▲消防団員の表彰式 (円内は海匝郡支部長功労章の伊橋佳辰さん)

- ◎東総支部協議会長功労章
第二分団第一部長 鈴木 章夫
第三分団第四部長 山田 善一
第八分団第四部長 篠崎 一郎
第一分団第二部長 羽山 操
中央分団第三部長 馬場 進
第八分団第一部長 岩沢 靖
- ◎海匝郡支部長功労章
中央分団第二部長 山崎 昭
第二分団第二部長 大木 量次
第三分団第一部長 越川 雅生
第一分団第一部長 伊東 尚孝
第三分団第三部長 霞 忠
第四分団第二部長 宮内 敏彦
第四分団第三部長 岩沢 治一
第七分団第四部団員 浅野 茂
第八分団第二部団員 伊藤 忠
第八分団第三部班長 伊橋 佳辰
- ◎海匝郡支部長精勤章
第二分団第三部長 鈴木 誠
第七分団第二部長 椎名 勝雄
第三分団第二部長 伊藤 忠夫
第五分団第四部長 越川慶三郎
第六分団第二部長 向後 幸治
第一分団第一部長 宇井 一夫
第五分団第三部長 川島 守
第六分団第三部長 伊橋 重康
- ◎無火災消防分団表彰
第七分団第一副部长 平山勝雄
- ◎光町長表彰
篠本 椎名三郎、加瀬信男・母子
越川勇・関 清宮昇、並木良夫、佐瀬和夫、内田竹雄・長塚伊藤堯仁、実川メリヤス株式会社
海保貞夫・白磯 合同資源株式会社
社・宝米 大木寛治
- ◎光町消防団長表彰
中央分団第三部班長 大木康邦
第二分団第二副部长 鈴木一夫
第三分団第四部班長 鈴木孝一
第七分団第一副部长 実川昭夫
第七分団第三部団員 仲田政吉
第七分団第四部団員 川島勝治
第七分団第四部団員 小川 章
第八分団第一部団員 伊藤 享
篠本婦人防火隊長 小西けい子
篠本婦人防火隊員 小関 はる
同 白浜婦人防火隊長 小西 春江
同 白浜婦人防火隊員 小川せい子
同 白浜婦人防火隊員 伊藤 くら
同 川野 やま
同 伊藤 とく
- ◎第五分団第一部長 水須 貞
◎第七分団第三部長 市原 宣
◎第七分団第四部長 山本 武男
◎第七分団第一部長 吉田二三夫
◎中央分団第一部長 斉藤 篤
◎第六分団第一部長 鶴沢 高
◎第五分団第二部長 鈴木 敏夫
◎第四分団第一部長 布施 光則
◎第七分団第三部副部长 片岡美夫
◎第五分団第一副部长 向後 勝
◎第七分団第四部団員 向後美守

昭和50年度町県民税申告説明会

9時20分～11時30分まで 13～15時まで				
二月二十五日	区名	場所	区名	場所
	篠本一区	厚生会館	篠本二区	青年館
	篠本三区	青年館	新井	協同館
	宝米	明光院	二又	青年館

二月二十六日	母子	青年館	芝崎	西蓮寺
	台	青年館	小田部	西連寺
	小川台	青年館	傍示戸	青年館
	富下	青照院	虫生	青年館

二月二十七日	作間内屋	農村協同館	橋場	青年館
	桑西郷野	西高野協同館	入	青年館
	篠原・原方	原方青年館	谷中	集会所
	長塚	青年館	五ノ神	青年館

二月廿九日	辻、木戸、関	旧白浜公民館	白磯	青年館
	尾垂5.6区	青年館		

所得税・事業税・住民税
申告は3月15日

所得税、事業税、住民税の申告期限は三月十五日です。申告の相談や提出のためには、おのりになる方は、申告期限間近に、役場税務課の窓口が混雑し、おのりになる皆さんに迷惑をかけることになり、早めにおのりになるようお勧めいたします。

なお、所得税の申告及び納税相談は、光町役場と八日市場市役所で、次のとおり行なわれます。
◎光町役場での納税相談
▽とき 三月七日、午前九時から午後四時。
▽ところ 光町役場第三会議室。
◎八日市場市役所での納税相談
▽とき 三月五日・六日、午前九時三十分から午後四時。
▽ところ 八日市場市役所二階会議室。

公職選挙法の一部が改正で

郵送による不在者投票もできる

公職選挙法の一部改正により、身体に重度の障害のある選挙人は本年三月一日以降に公示または告示される選挙から、従来の不在者投票の方法のほかに、選挙当日は投票所にいなくてもその場所（自宅）で、投票用紙に投票を記載し、これを郵送する方法による、不在者投票ができるようになりました。しかし、この郵便投票をするためには、いろいろな手続きが必要

です。次にかかげるものに該当する身体障害者手帳または戦傷病者手帳をお持ちの方は、役場選挙管理委員会（有線二〇〇一）にお問い合せください。
◎身体障害者手帳に両下肢等の障害程度
① 両下肢もしくは体幹の障害にあつて一級あるいは二級と記載されている者。
② 心臓・じん臓もしくは呼吸器の障害にあつて、一級あるいは三級と記載されている者。

③ 両下肢等の障害の程度が①または②にかかげる障害の程度に該当することを県知事が、書面により証明した者。
◎戦傷病者手帳に両下肢等の障害の程度
① 両下肢もしくは体幹の障害にあつて、特別項症から第二項症までの記載のある者。
② 心臓・じん臓あるいは呼吸器の障害にあつて、特別項症から第三項症までの記載のある者。
③ 両下肢等の障害の程度が①または②にかかげる障害の程度に該当することを県知事が書面により証明した者。

無鉛ガソリンについて

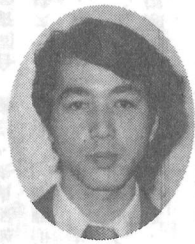
二月から鉛を添加しないレギュラーガソリンが販売されました。「農業機械」のエンジンにも関係があるので、次のことに注意してください。

① お手持ちの農業機械の中で「二条植田植機」以外の四サイクルガソリンエンジンを動力源とする耕うん機、ティラー、四条植田植機、バインダー、防除機、土壌積込機などは、無鉛ガソリンのみを使用すること、排気弁座が急速に摩耗し、エンストしますからこ

注意ください。
② 「農業機械」は、無鉛化されたレギュラーガソリン2に対して、プレミアムガソリンをおおむね1の割合で混合してください。一方、潤滑混合ガソリンを使っているガソリンエンジンは、2サイクルですから、無鉛化されたレギュラーガソリンに、従来どおり潤滑油を混合してください。今後は、無鉛ガソリンを使用できる農業機械が販売されることになり、そしてこれらには、無鉛ガソリン使用を明示したステッカーが貼付されます。もしも疑問な点、不審な点がありましたら、販売店に相談してください。

成人式 大人の仲間入り

私は昨年の四月で二十歳になったのですが、その時、自分は成人したんだと、言う自覚とか、成人

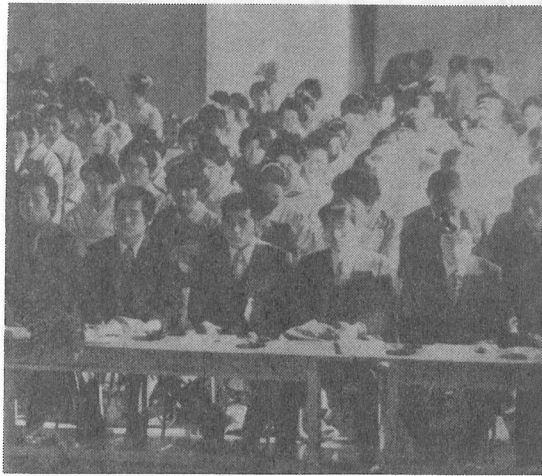


宝米 小川光男

大人としての 自分の在り方

「成人の日」を祝って、東陽小学校体育館で、午前十時から成人式典が行なわれました。ことし晴れて大人の仲間入りする成人者は二三四名です。会場には多くの来賓の方々が出席され、成人者たちを祝いました。

したからと言って、抱負などと言うものはありませんでした。最近になって成人あるいは、成人式について考えてみました。けじめをつけることはいいのですが、二十歳で成人式をすることは無意味に思えてしかたがありません。それならなぜ参加したか、と言われれば先ず「一生に一度しか経験できない。」とか、「なつかしい友に会える。」からだと思えます。私の場合、高校卒業後、直ぐ就職し、その時から物価高に悩ま



れながら独立して、生活しており。会社においては未成年だからと言って、甘えや妥協は許されなかったわけです。

また、二十歳になったからやっとな酒、たばこをやれると言うこともありませんでした。いろいろ理由はありますが、私にとつては十九歳(すなわち就職した年)が、未成年から成人への過渡期だったと思います。

とにかく、今日のこの成人式を機会に、今後大人としての自分の在り方、あるいは今後の抱負を立て、それに向けて努力して行きたいと思えます。

勇気・創造と 信頼・平和

台 鈴木睦子



私たちはこの成人式を境にして「未成年」に別れを告げ、一人前の社会人として、法律的に認められるようになります。「今日から社会人」と言われても私たちは皆さまざまな事情のもとにいます。すべてが同じ気持で、この喜ばしい成人式をむかえるとともに、た

だ手放しには喜べない複雑な気持ちでむかえています。私たちは、物質的にも一番恵まれた時代に生まれ育って来ました。

しかし、今、未熟な私たちにも世の中に危機がせまりつつあるのを肌で感ぜずにはいられません。このような状況のもとに成人式をむかえ、そして、これからの世を生きてゆく私たちにとって、第一に必要なことは、先ず勇気と創造ではないかと思えます。この現代において、私たち若い者が社会の一員であることを自覚し、清潔な態度で創造的、そして建設的精神に燃えて社会づくりにいそしまねばいけない、そう思います。

第二に今ほど人びとの間において、信頼と平和が望まれる時代はないように思われます。それは他の人の言うことをよく聞き、理解することが大切だと思えます。私たちは若さにまかせて、ややもすると、この狭い知識から独断におち入りがちです。先人、先輩の言葉に謙虚な気持で耳を傾ける。そう言う態度を大切にしたいと思えます。これからの世の中をよくするか、悪くするか、私たち若者の力にかかっていることを忘れたくないと思えます。

今の私たちは、何よりも精神的な独立、精神的に「一人前の大人になったのだ。」と、言うことを自覚しなければいけないと考えて

います。それぞれ環境は違いますが、考え方も皆んな違うかも知れませんが、どんな環境にいるにしてもそれぞれが、独立した一人の人間として、これから自分で自分に責任を持って、元氣な青春の日を送りたい。そう願っているといます。

私の場合は女性ですが、日本の伝統とか、長い間の習慣から今日になっても、私たち女性の心の中には、人に頼ろうとする気持が多いように思われます。これは私の場合もやはりそうです。今、私は二十歳をむかえて、これからは「自主的な生き方」をしたいと言う気持で一杯です。

私は次のようなことを耳にしたことがあります。イギリスでは、息子が成年に達すると、父親は子供に玄関の鍵を渡すそうです。つまり今日から一人前の大人になったのだから何時に帰ろうと、自分で鍵を開けて入っておいでと、言う意味らしいのです。しかしそれを受け取った息子は、しめたばかり毎晩、夜更しをしたりするのはなく、その日から自分の社会人としての責任を、感じるわけなのです。

ここで私は、自分自身の心の中で、その鍵を受け取りたいと思います。そして、その鍵で開けるのは、夜おそく寝静まった我が家の玄関ではなく、自分自身の生活の

晴れの 234名が



▲夢、希望に胸ふくらませる成人者

在り方に責任を持って、一人で開け立てする、そんな「心の持ち方の鍵」にしたいと、願っています。

壁に突き当つても崩れない私

原方 加瀬三佐恵



月日のたつのは早いものです。小学生の頃、早く大人になりたがっていた自分が、今、思うとなつかしくなります。二十歳の人を見ると妙に大人っぽく見えた時があったのに、いつの間にか私も二十

歳になってしまいました。歳を聞かれて「二十歳です。」と、答えた後、何んとなくはさかしさがこみあげてきて……。ですから「成人になっての決意は」と、聞かれてもドギマギして答えられない状態でした。

「成人」大人の社会への仲間入りです。そして社会的に認められることとなります。お酒、たばこ成人映画、ギャンブルも堂々と、できるようになります。そして何よりも意義があることは選挙権を与えられたこと。私はまだ実際に投票したことがないので、実感はありませんが、私たちは投票することによって、政治に参加することができるようになりました。住みよい町をつくるため、住みよい国を築き上げるために、私たちは

自分の気持を反映させる権利が持てたのです。その権利を生かすため、いやその前に社会の一員としても私たちは今の政治、経済、社会等の実情に深い関心を持つことが大切だと思います。

有権者の中でも自分とは、直接関係ないように考えて、無関心な態度を取る人もいますが、私たちは選挙権を持つ初心者。新鮮な気持ちで取り組みましょう。特に今年、選挙の年と言われている。私も重みのある一票を投じたいと思っています。

私は四月から社会人としてスタートします。

トします。今までは経済的には親のスネをかじり、精神的には未熟な子と言うことで、家族に甘えていました。しかし、四月からは自分で稼いだ給料で生活し、また対人関係においても、今までのように同年齢の人たちとのつき合いだけでなく、幅広い年齢層とつき合うこととなります。私の本当の意味の成人としてのスタートは、そこからだと思います。自分がどれだけやれるか試す時であり、社会からも私の真価が問われることとなります。

しかし、まだまだ人間的に未熟



▲ 234名の成人者を代表して夫婦松を光中校校庭に植樹する伊藤定幸さん、林新一さん、宇井かつ江さん、布施弥生さん(左側から)

な自分をみた時、果たしてその場でやっていけるだろうか、言う不安がいつもつきまわっています。そこで私が今、考えていることは「少しづつでもよいから人間的に成長したい」と、言うことです。一言で言うとは簡単ですが、とてもむずかしいことだと思います。私はその糸口として「自分をもう一度よく見つめ直して行きたい」と、思っています。その方法として、日記なり何んなりにその日のできごとやその日、話した人との会話などを丁寧に書き込み、そこから自分の行動を見つめて行き、分析して行きたい。いや自分だけでなく、自分の周りの人をも見つめて行くことによって、いろいろな人から学び取って行きたい、言うことです。矢沢幸さんの詩に「自分だけに」と、言う題で「自分だけにこり、かたまらないように注意しながら、自分を見つめたい。」と、言う短い詩があります。とにかくまだまだ現実に対して社会に対して、甘い考えを持っているところがありますが、これから社会に出て、壁につきあたってもくずれない自分。どんな困難も乗り越えて行ける自分を築き上げて行きたいと思っています。

広報室から

紙面のスペースの関係上、文章の一部を添削いたしましたので、ご了承下さい。

第二十七回婦人週間 — 会議員募集 —

急速に変転する今日の社会にあつて、婦人の果たす役割はさらに重要性を増しています。

四月十日は、我が国婦人の最初の参政権行使の日であり、一週間の全国的に婦人週間が展開されます。千葉県婦人少年室では、第二十七回婦人週間及び国際婦人年にちなみ、婦人会議を開催することに、会議員を次のような方法で募集いたします。

- ▽場所 千葉県職員会館
- ▽テーマ 男女の平等と婦人の社会参加のすすめ
- ▽講師 弁護士 渥美雅子
- ▽申込資格 県内在住の二十才以上の男女
- ▽申込方法 千葉市松波三の十一の三、千葉県婦人少年室にハガキで三月三十一日までに申込んでください。

お知らせ

- ◎結婚
- (長塚) 藤田 清—伊藤絹子
 - (宮内) 鈴木勝弥—仲村幸子
 - (尾垂) 岩沢清隆—菅谷節子
 - (芝崎) 土屋 進—山田みち子
 - (木戸) 大木岩男—石毛正代
 - (古屋) 越川俊夫—石井康子
 - (入) 伊橋芳広—青木靖子
 - (新井) 鈴木克己—山崎邦子
 - (関) 椎名正博—唐沢京子
 - (白磯) 鈴木正吉—鶴沢とき子
 - (富下) 布施美雄—吉田イツノ
 - (宝米) 土屋 豊—越川政江
 - (篠本) 関川秀吉—霞つね子
 - (芝崎) 土屋隆司—椎名幸子
- ◎お誕生
- (作間内) 戸田雅博 長女 雅美

全国春季火災予防運動 二月二十八日から三月十三日

- (五ノ神) 伊橋 昭 長女 裕子
 - (辻) 実川勝利 長女 美枝
 - (尾垂) 伊藤章一 二男 照章
 - (宝米) 土屋正己 長女 美和子
 - (尾垂) 伊藤 博 長女 めぐみ
 - (辻) 渡辺秀雄 長女 和子
 - (関) 市原敏雄 二男 国雄
 - (古屋) 越川 傳 長女 芳恵
 - (作間内) 鈴木 博 長女 貴子
 - (傍示戸) 鈴木茂昭 長男 淳
 - (尾垂) 伊藤洋一郎 長男 一彦
 - (辻) 山下徳造 長女 陽子
- ◎おくやみ
- (木戸) 伊藤 好 女 81才
 - (関) 実川倉三郎 男 69才
 - (関) 井戸綱造 男 70才
 - (宮内) 椎名まち 女 62才
 - (宮内) 藤代なを 女 40才
 - (橋場) 椎名 貞 男 75才
 - (篠本) 森 文江 女 47才
 - (谷中) 長谷川弥吉郎 男 81才

私のひとこと

宮内 越川 福子

家庭から出るいろいろなゴミの集取については、町からもたびたびご注意があったように承知しておりますが、まだ町を歩く時、ゴミ集取の日ではないのに臭気ぶんぶん、とした生ゴム等、犬猫の好餌となっているのを見ます。

危険物等は一月一回の集取なのに紙袋や段ボールの箱に入れて山積みになっているようです。

町的美観もさることながら、近くの家のかたがたの迷惑、そして通行の人々の不快さを考えて、決められた日時を皆んで守り、少しでも快適な暮しをしたいと思

文芸

俳句・短歌

俳句

大木浅治郎
初日の出松の緑や新庁舎
川野 稔一
輪飾りや磨き上げたる耕耘機
せつ子
拍手に傘の雫や初詣で
静波子
年金に局賑はしき老の春
加瀬 米子
初髪にジャスマミン香る娘や眩し

不 求

ふくらむで並ぶ夫婦の寒雀
佐々木梅子
結い上げし髪の花あらたにむかふ年
加瀬 木点
生活守る庁舎新し卯の睦月
伊藤 幸枝
子供等にせがまれてとるカルタかな
二藤志づ子
神前に襟足細き初島田
越川 二郎
微意送る当地の品に賀状添え
平山 増雄
元旦や待たざる人の年賀状

越川 福子
粧いて見し初鏡五十なる
鈴木 つね
肩あげて成人の日の主張かな
椎名しげる
負いし児の鼓動難なし寒に入る
越川起彌子
丈高き子と呼びとめて供餅
鈴木ただし
新年の未だなじまぬ日記かな
藤代 敏子
卯の初春に竣つ芽出度さや新庁舎
晴 史
荒らくれし手も祝盃の新庁舎

短 歌

吉利 さた

初詣での團回り来て夕寒き露店
に子等と甘酒をすすりぬ
竹内 紀葉
ひらけゆく光と仰ぐ新庁舎昭和
五十年早春の天
鈴木 不求
拓け行く町に住いて百姓吾は麦
踏み作ら新庁舎見る
静波子
初山に入りて椎茸の精を俵る斧
のこだまに日の廻り来し
越川 福子
成人せし子等はそれぞれ言挙て
正月の宴いよいよさかる